

吹上社といふをも、並べ祭れり、或説には、吹上社は、關戸村の矢の宮なりともいへり、雜賀浦は、海士郡にて、雜賀庄とて廣き所なる、其中に、若浦の西の方に、雜賀崎といふところ有、此わたり、雜賀浦なるべし、浦の初島は、同郡濱中庄、椒村の八町ばかり海中に、地の島といふ有、東西四町あまり、南北八町ばかりの島なり、其島の三町ばかり西に、又島有て、沖の島といふ、東西五町に、南北六町ばかりあり、此二つの島を、浦のはつ島といふ、小爲手の山は、在田郡山保田庄に、推手村といふあり、これか、其村は伊都郡の堺にて、山のおくなり、白崎は、日高郡衣奈庄衣奈浦の東南の方に、衣奈八幡といふある、其社の縁起に、白崎といふこと見えたり、三穂の岩屋は、同郡三尾村の廿五町ばかり、東南の海べに在、岩屋の中に、石の觀音の像あり、熊野道のうち、日高川鹽屋浦のあたりより、西の海べに、一里ばかりの長き松原有て、和田松原といふ、此岩屋は、その西の際なり、野島阿胡根浦は、同郡鹽屋浦の南に、野島里あり、その海べをあこねの浦といひて、貝の多くよりて集まる所なり、切目山は、同郡熊野道の海べにて、切目坂、切目浦、切目村あり、山は村より一里ばかり、東北なり、村の北に、切目王子社も有、磐代は、同郡なり、切目を過て、切目川有て、次に磐代なり、西岩代、東岩代とて、村有、岩代王子社、海べにあり、千里濱は、岩代の南の邊より、南部までのあひだ、一里半ばかりのところをいふ、むかし、元弘元年七月三日、大地震にて、きの國千里の濱廿よ町がほど、たちまち陸となれるよし、太平記にしるせり、三名部は、岩代の南なり、三名部村みな、浦あり、その十町ばかり海中に、島有、これ鹿島なり、さて三名部の南に、堺浦といふ有て、郡堺なり、そこまでは、日高郡、それよりあなたは、牟婁郡なり、磯間浦は、田邊の王宿村の南、神子濱つゞきにあり、神島は、その一里ばかり海中にありて、かしまともいへり、白良濱は、湯崎鉛山と、瀬戸とのあひだに在て、里人は、白濱といへり、此濱の眞砂、遠く見れば、雪のごとし、神藏山は、新宮より二町ばかり、東南は、西南に有社の説に、天照大神と、高倉下と、二神を祭といへり、石の階を、六間ばかりのぼりて、上に堂有